

「 Unit 5 Legacy for Peace 」

本単元で育成する資質・能力

コミュニケーション能力, 主体性

日 時 令和3年11月19日(金)
 学 年 第3学年 男子6名, 女子8名, 計 14名

1 単元について

(1) 単元観

本単元と学習指導要領との関連

1 目標

(5) 書くこと

イ 日常的な話題について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

本単元では, この目標に向け, 自分が伝えたいことや情報, 考えたことや感じたことなどを明らかにし, それらを整理した上で, 内容的にまとまりのある文章を書くことができる力を養っていく。

扱う内容では, 自分があこがれの人物を紹介する活動を行う。紹介するにあたり, 自分の意見の提示, 根拠・理由の述べ方を学ぶことができる。本単元では, 関係代名詞を扱い, どのような人物やものかを伝えるために, 言葉に情報をさらに加えて, より詳しく伝えることができる。そこで, 自分の意見や考え, 事実などを理由や根拠とともに相手に伝えることに適した教材である。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として, 以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【思考力・判断力・表現力】

① コミュニケーション能力

② 課題発見・解決力

【学びに向かう力・人間性】

③ 主体性

④ 自己理解

この中から, 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて, 次の2点に重点を置くものとする。

【思考力・判断力・表現力】 ① コミュニケーション能力

本単元では, 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方である「外国語で, 情報や考えなどを表現し伝え合う力」を働かせ, 外国語で実際のコミュニケーションにおいて, 目的, 場面, 状況等に応じて, 情報や自分の考えなどをまとめ, 整理・再構築し, 書いたりして表現する能力を養う。

【学びに向かう力・人間性】 ② 主体性

本単元では, 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方である「外国語で, 情報や考えなどを表現し伝え合う力」を働かせ, 外国語を通じて積極的に人や社会と関わり, 自分のことを表現する能力を養う。

(3) 生徒観（調査結果から見る課題）

英語の授業に係る生徒質問紙調査

質問項目	肯定的回答
もっと英語で表現できるようになりたいと思う。	100%
英語がこれからの生活で大切だと思う	100%
英語の授業でまとまりのある文章を書く活動が苦手である。	50%

本学級の生徒は、積極的にALTの先生に話しかけている姿がよく見られ、分からないことは、すぐに聞いたり、調べたりするなど、間違いを恐れず、意欲的に授業に取り組むことができる。また、英語の授業に係る生徒質問紙調査において、「もっと英語で表現できるようになりたいと思う。」「英語がこれからの生活で大切だと思う」との問いに対して、どちらも肯定的に答えた生徒が100%であったことから、英語の重要性を認識していることがわかる。しかし、一方で、「英語の授業でまとまりのある文章を書く活動が苦手である。」の問いに、50%の生徒が苦手であると答えている。令和3年6月に実施した実力テストでは、条件英作文一英問英答の問いで、クラス平均は62%であったが、令和3年9月に実施した同テストにおいて、条件英作文では、クラス平均は17%であった。授業の中でも、一問一答問題においては答えることができるが、根拠や理由をつけて、まとまりのある文章を話したり、書いたりすることを苦手としている生徒が多い。「書くこと」において、「自分の意見や考え、事実などを理由や根拠とともに相手に伝えること」に課題がある。

(令和3年6月実施) 実力テスト

- 6** 由香(Yuka)の家でホームステイを始めたエマ(Emma)が由香に次のような質問をしました。由香になったつもりで〈メモ〉の内容にあうように、次の(1)、(2)の質問への答えを《条件》にしたがって書きなさい。
- 《条件》 ・それぞれの質問につき、1文で書くこと。
 ・1文は、4語以上8語以内の主語と動詞のある文で書くこと。

- (1) What do you do when you are free?
 (2) Where do you want to go in Japan?

〈メモ〉

- ・ピアノをひく。
- ・京都に行きたい。

正答率
62%

(令和3年9月実施) 実力テスト

- 6** 次の英文は、英語の授業でブラウン先生(Ms. Brown)が生徒に問いかけた内容です。これを読んで、美咲(Misaki)と翔太(Shota)は質問に答えるためにメモを作成しました。美咲か翔太のどちらかの立場に立って、メモの内容にあうように、理由を、《条件》にしたがって書きなさい。
- 《条件》 ・理由について、どちらか一方の立場に立って主語と動詞のある2文で書くこと。
 ・1文は6語以上10語以内とし、I'mなどの短縮形は1語として数えること。コンマ(,)、ピリオド(.)などは語数に入れません。

【ブラウン先生の問いかけ】

Good morning, everyone. I hear some students don't have breakfast. I get up early and have breakfast every day. How about you? Do you eat breakfast every morning?

(注) early 早く

〈美咲のメモ〉

Yes, I do.
 〈理由〉
 ・朝食を食べることは、一生懸命に勉強するために大切だと思う。
 ・朝食を食べないと、おなかがすく。

〈翔太のメモ〉

No, I don't.
 〈理由〉
 ・朝食を食べる時間がない。
 ・起きたときにおなかがすいていない。

正答率
17%

(4) 指導観(指導改善のポイント)

令和3年9月実施の実力テストにおいて、条件英作文についての正答率が低いことから、事実や自分の考え、気持ちなどを整理したメモなどを基にし、自分の思いを書くことを苦手としていることがわかる。

そこで、指導にあたっては、次の点に留意して行っていく。まず、英語で自分の思いや考えを伝える際のフォーマットやヒントカードをインプットする。既習事項を活用しながら、文と文の順序や相互の関連に注意し、全体として一貫性のある「まとまりのある文章」を書き、論理的に意見を述べられるように指導を行っていく。また、ICTを活用し、視覚支援をしながら、個々のつまづきに対する支援をしていく。そして、「学び合い」によるペアやグループでの協働的な学習の場面の充実を通して、他者の視点や考え方から自分にはなかった考えに気づき、他者の良さを認め、見方・考え方を広げようとする姿勢を養っていく。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

根拠や具体的な理由を挙げて、あこがれの人物をALTの先生にプレゼンすることができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①接触節、関係代名詞の形・意味・用法を理解している。(聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと) ②接触節、関係代名詞を用いた文の理解をもとに、対話の内容を聞き取る技能を身に付けている。(聞くこと) ③接触節、関係代名詞を用いた文の理解をもとに、対話の内容を読み取る技能を身に付けている。(読むこと) ④接触節、関係代名詞を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明し合う技能を身に付けている。(話すこと[やり取り]) ⑤接触節、関係代名詞を用いた文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて書く技能を身に付けている。(書くこと)	①どのような人か、どのようなものを理解するために、言葉に加えられた情報をもとに、話される内容の要点を捉えている。(聞くこと) ②平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えている。(読むこと) ③間違うことを恐れず積極的に自分の意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(話すこと[やり取り]) ④与えられたテーマについて、自分の意見や主張を、原稿をもとに発表している。(話すこと[発表]) ⑤与えられたテーマについて、自分の意見や主張を、情報をもとに発表をするための原稿を書いている。(書くこと)	①どのような人か、どのようなものを理解するために、言葉に加えられた情報をもとに、話される内容の要点を捉えようとしている。(聞くこと) ②平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えようとしている。(読むこと) ③間違うことを恐れず積極的に自分の意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(発表[やり取り]) ④詳しい情報を整理し、書いた原稿をもとに発表しようとしている(話すこと[発表]) ⑤根拠や理由となる情報を集め、整理し発表するための原稿を書こうとしている。(書くこと)

3 指導と評価の計画

- 本質的な問い** 知ってもらいたい人のことを適切に伝えるにはどうすればいいか。
- 単元を貫く問い** あこがれの人の功績をどのようにして伝えるのか。(ガンディーの功績を通して)

(全14時間)

次	学習内容	評価			
		知	思	態	評価規準 (評価方法)
1	課題の設定 ・ALTのあこがれの人物紹介文を聞く ・根拠や具体的な理由を挙げて、あこがれの人物をALTの先生にプレゼンすることができる、という単元を通してのめあてを示す。		○	◎	英語で自分の意見や、まとまりのある文章を書くことに課題があることを認識させ、学ぶ意欲を高める。ウ①聞くこと(観察) ALTの先生のプレゼンを、話される内容の要点を捉えている。イ①聞くこと(ワークシート)
2	情報収集・整理分析 ・名詞を修飾する文(名詞+主語+動詞)についての用法を理解する	○			語と語のつながりやかたちに注意して、名詞を修飾する文(名詞+主語+動詞)を理解する。ア①(ワークシート) 名詞(先行詞)を説明することばであることを理解し、説明することができる。ア④(観察)
3	情報収集 ・教科書の本文を読んで、ジョシュがガンディーについてプレゼンしている内容を理解できる(Scene 1) ・名詞を修飾する文(名詞+主語+動詞)についての用法をまとめる	○			自分たちが知っているガンディーの情報を出させ、ジョシュが用いている、プレゼンの始め方等を理解し、内容を聞き取ることができる。ア②(ノート) 名詞を修飾する文(名詞+主語+動詞)を用いた修飾方法について自分の言葉でまとめる。ア⑤書くこと(ワークシート)
4	情報収集・整理分析 ・関係代名詞 who (主格)についての用法を理解する	○			語と語のつながりやかたちに注意して、関係代名詞 who (主格)を理解する。 名詞(先行詞)を説明することばであることを理解させる。ア①(ワークシート)

5	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の本文を読んで、ジョシュと朝美の対話文を理解し、ガンディーについての知識を深める (Scene 2) 関係代名詞 who (主格) を用いた用法についてまとめる 	○			<p>ジョシュと朝美が、プレゼン後に、ガンディーについて話している内容を読み取る。ア③読むこと (ノート)</p> <p>関係代名詞 who (主格) を用いた修飾方法について自分の言葉でまとめる。ア⑤書くこと (ワークシート)</p>
6	情報収集・整理分析 <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 which (主格) についての用法を理解する 	○			<p>語と語のつながりやかたちに注意して、関係代名詞 which (主格) を理解する。名詞 (先行詞) を説明することばであることを理解させる。Who (主格) との違いを考えさせる。ア① (ワークシート)</p>
7	情報収集・整理分析 <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 that, which (目的格) についての用法を理解する 	○			<p>語と語のつながりやかたちに注意して、関係代名詞 that, which (主格) を理解する。目的格が先行詞になっていることを理解させる。ア① (ワークシート)</p>
8	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の本文を読んで、ガンディーが平和のためにしてきたことを理解し、受け継がれているガンディーの教えについて理解を深める (Read and Think) 		◎	○	<p>時代の流れに沿って、ガンディーがしてきたことを読み取る。イ②読むこと (ノート)</p> <p>平和や人権の大切さを考えるために、本文の概要を捉えようとしている。ウ② (観察)</p>
9	情報収集・整理分析 <ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 that, which (目的格) を用いた用法についてまとめる 	○			<p>関係代名詞 that, which (目的格) を用いた修飾方法について自分の言葉でまとめる。ア⑤書くこと (ワークシート)</p>
10	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 自分のあこがれの人物についての情報を集める マッピングし情報を整理する 			○	<p>根拠・理由に使える情報はどのようなものが適切かを考え、集めた情報をジャムボードに整理する。ウ⑤書くこと (ワークシート)</p>
11	情報収集・整理分析 <ul style="list-style-type: none"> 今まで習ってきたプレゼン時に使える表現を復習する 集めた情報を英語で表現する 		○		<p>教科書等をモデルに、意見の述べ方や根拠や理由の提示の仕方を知る。イ③話すこと [やり取り] (観察)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を参考に、自分の意見を裏付ける根拠や具体的な理由を順序立てる 				意見の根拠となる具体的な理由の表現方法を活用し、表現できる。イ⑤書くこと（ジャムボード）
12	<p>表現・整理分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を英語で表現する 聞いた内容をもとに、相手に質問する 他者の意見を参考に意見文の再構築をする 			◎	<p>集めた情報をもとに整理し、他者からの意見を参考に、発表するための原稿を書こうとしている。ウ⑤書くこと（観察）</p> <p>他者からの意見を参考に、自分の意見を再構築することができる。イ⑤書くこと（ワークシート）</p>
関係代名詞を使って、情報を整理し、より詳しく相手に伝わるように、紹介文を書くことができる。					
13	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のあこがれの人物とそれに対する自分の意見やその根拠を確認する スライド作成し、話すスピード、表現方法を工夫し、プレゼンの練習をする 			◎	<p>○ 選んだテーマについて、学んできた方法を用いて、根拠や理由を明らかにし、自分の意見を伝えあう。ウ③話すこと[やり取り]（観察）</p> <p>自分の意見を相手に分かりやすく伝えるためのポイントを確認し、意見を交流する人が様々な意見や考え方、視点を持っていることに気づき、自分の考えを広げる。イ④話すこと[発表]（スライド）</p>
14	<p>まとめ</p> <p>〈パフォーマンステスト〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のあこがれの人物について、根拠や理由を含め、ALTに英語でプレゼンする 			◎	<p>○ 選んだテーマについて、学んできた方法を用いて、根拠や理由を明らかにし、自分の意見を相手に伝えることができる。イ④話すこと[発表]（スピーキングテスト）</p> <p>○ 詳しい情報を整理し、書いた原稿をもとに発表しようとしている。ウ④（話すこと[発表]）</p>

4 本時の学習

(1) 本時の目標

関係代名詞を使って、情報を整理し、より詳しく相手に伝わるように、紹介文を書くことができる。

(2) 準備物

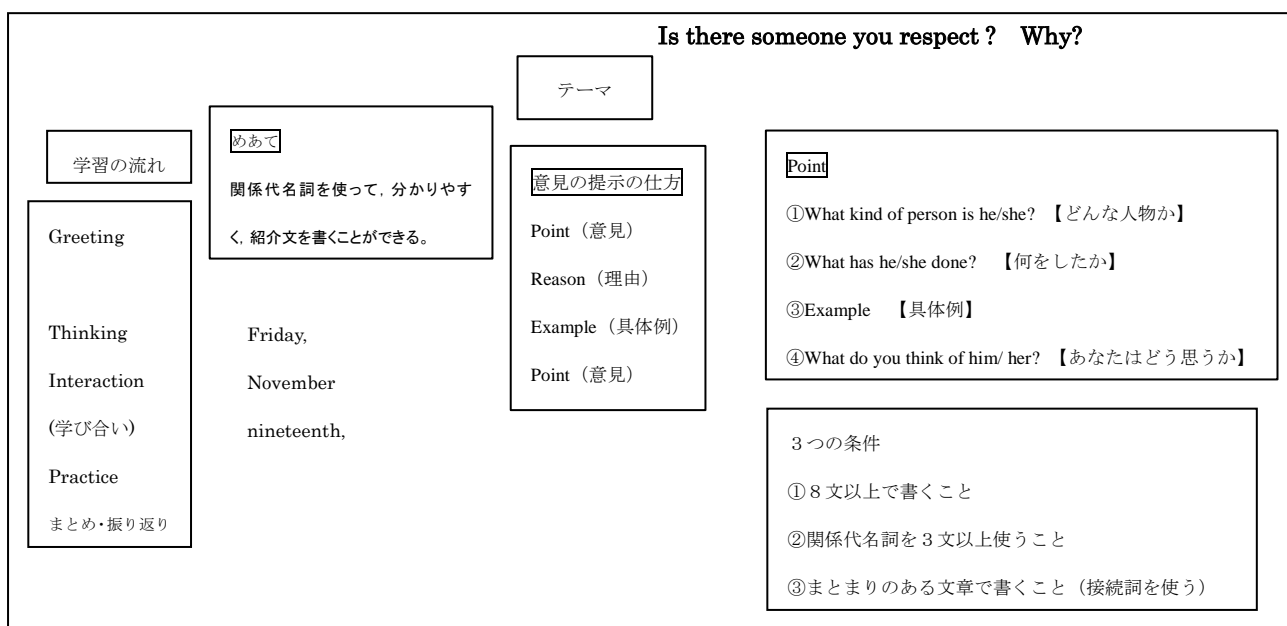
パソコン, Chromebook, テレビ, タイマー, ワークシート, 振り返りシート

(3) 本時の学習展開

段階	○学習活動	教師の支援の在り方 (努力を要する生徒への指導の手立て◆) 評価規準 (■)	配時
導入	<p>○あいさつをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日, 日付, 天気を英語で確認する <p>○帯学習 (ペアワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりとり練習 <p>○本時の目標に対する課題意識を持たせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持たせるため, やり取りの回数をカウントするように指示する ◆机間指導を行い, やり取りが止まっている生徒にヒントを出し支援する ・めあてを振り返りシートに記入するように指示し, めあての意識付けをする 	10
<p>【本時のめあて】 関係代名詞を使って, 分かりやすく, 紹介文を書くことができる。</p>			
展開 ①	<p>○あこがれの人物の情報を整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについてその人物が何をしたか, どんな人物か, 自分はどう思うか等, 自分の意見をジャムボードに書き出す <p>○モデル文を提示し, 英文の語順を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>例) The person I respect is Mahatma Gandhi. Gandhi is a man who has influenced a lot of people. For example, he works for Indian independence. Also he fought against discrimination in South Africa and India. He never used violence, so he is respected by people who fight for human right. I think the idea of non-violence is very important. Non-violent protest is the legacy that Gandhi left. So I respect him.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文の提示の仕方を復習する ①人物 ②どんな人物か ③何をしたか ④具体例 ⑤自分は相手をどう思うか <ul style="list-style-type: none"> ・根拠や理由となる具体的な例を明らかにすることができる。 ・紹介文を作成する上での条件を提示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 8文以上で書くこと ② 関係代名詞を3文以上使うこと ③ まとまりのある文章で書くこと (接続詞) </div>	10

<p>展開 ②</p>	<p>学び合い</p> <p>○お互いの情報を交流し，再構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ(4人組)で互いのあこがれの人物について英語で交流し，疑問点や，より詳しく知りたいことについて質問する <p>○自分の作品を修正する</p> <p>○発表練習をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで発表練習をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流後，ジャムボードにそれぞれのポイントについて付箋を書く ・ピンクの付箋⇒疑問点や，より詳しく知りたい文について書く。 ・青色の付箋⇒ループリックをもとに，良かった点や，分かりやすい説明，3つの条件を満たしているかについて書く。 ・ポイントを示し，そこに視点をおいて，しっかり聞くように指示する <p>ポイント</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Point</p> <p>①What kind of person is he/she? 【どんな人物か】</p> <p>②What has he/she done? 【何をしたか】</p> <p>③Example 【具体例】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆机間指導を行い，発話が止まっている生徒にヒントカードを見せ，支援する ・お互いに発表のアドバイスをする ■集めた情報をもとに整理し，他者からの意見を参考に，発表するための原稿を書こうとしている。ウ⑤書くこと（観察） ■他者からの意見を参考に，自分の意見を再構築することができる。イ⑤書くこと（ワークシート） 	<p>25</p>
	<p>まとめ</p>	<p>○本時のまとめ，振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに本時の振り返りと，today's English を記入する。 <p>○あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールに向けての改善点や良かった点について記入させる ・次時の内容について説明する

(4) 板書計画



(5) 評価基準

- 関係代名詞を使って、情報を整理し、より詳しく相手に伝わるように、紹介文を書くことができる。
(思考・判断・表現：ルーブリック評価)

A	B	C
与えられたテーマに対し、理由や根拠を明らかにし、関係代名詞や接続詞を活用し、8文以上のまとまりのある紹介文を書くことができる。	与えられたテーマに対し、理由や根拠を明らかにし、関係代名詞や接続詞を活用し、8文で紹介文を書くことができる。	与えられたテーマに対し、理由や根拠を明らかにし、紹介文を書くことができていない。

- 関係代名詞を使って、情報を整理し、分かりやすく相手に伝わるように、まとまりのある紹介文を書くようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)